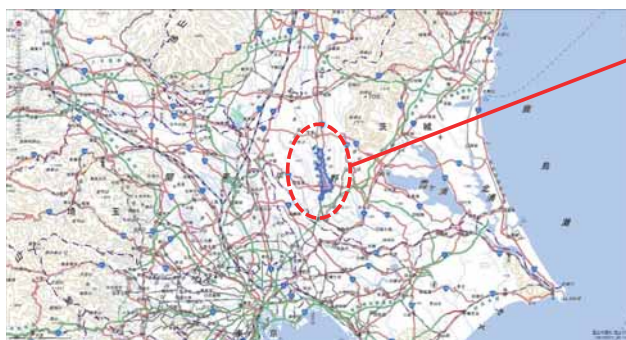




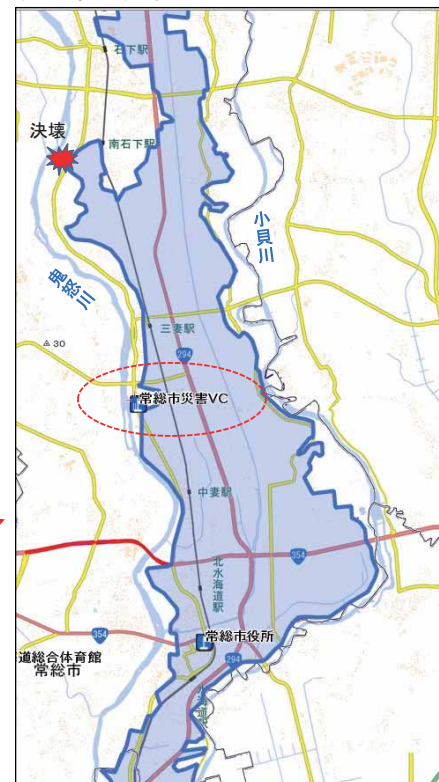
2. 「平成27年9月関東・東北豪雨」における常総市への情報支援からみえてきた情報共有・利活用における課題（発災直後の対応）

「災害ボランティアセンターの公的連携について」 研究員 水井 良暢

1. 常総市（社協）災害ボランティアセンター



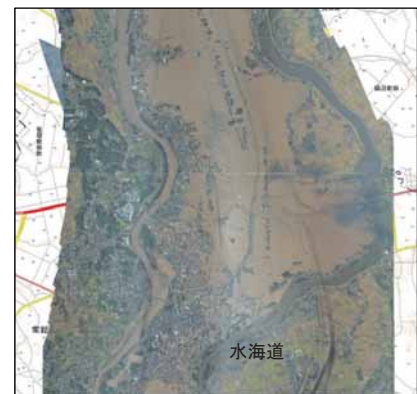
茨城県常総市



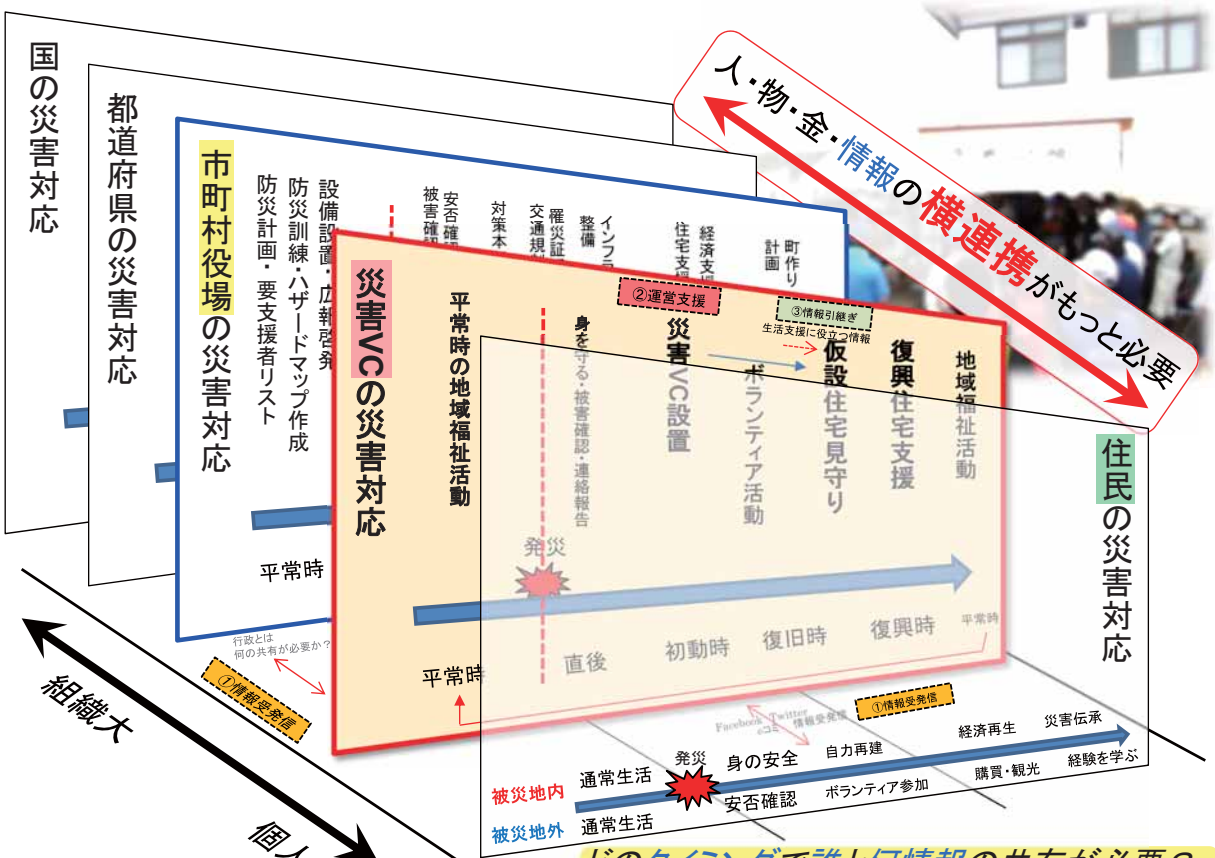
背景地図：国土地理院

2. 常総市(社協)災害ボランティアセンター状況(9/22)

最新の地図、航空写真(被災前・後)、道路状況などを掲示し、ボランティアや運営スタッフで現状を共有

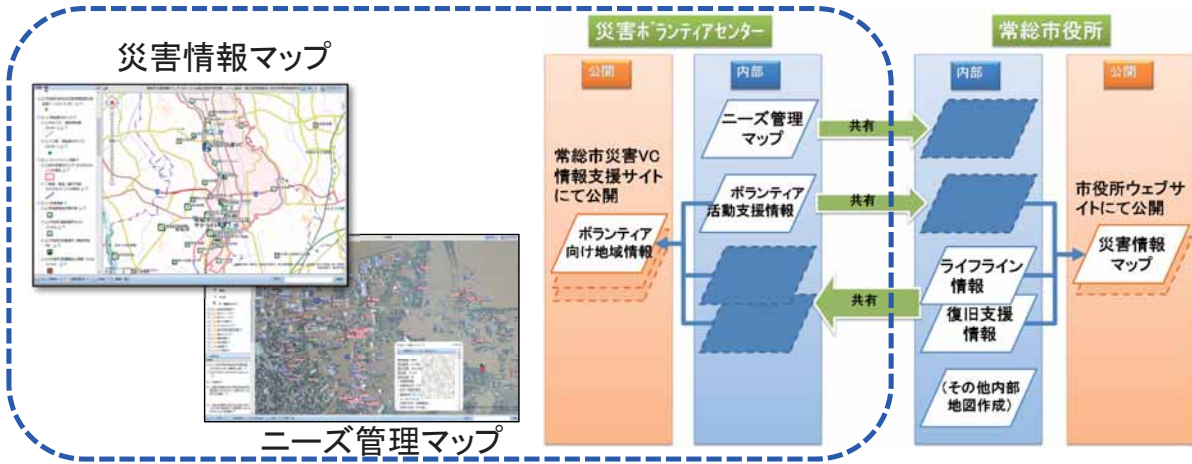


3. 災害に対応する各プレイヤーのタイムライン (地域生活編)



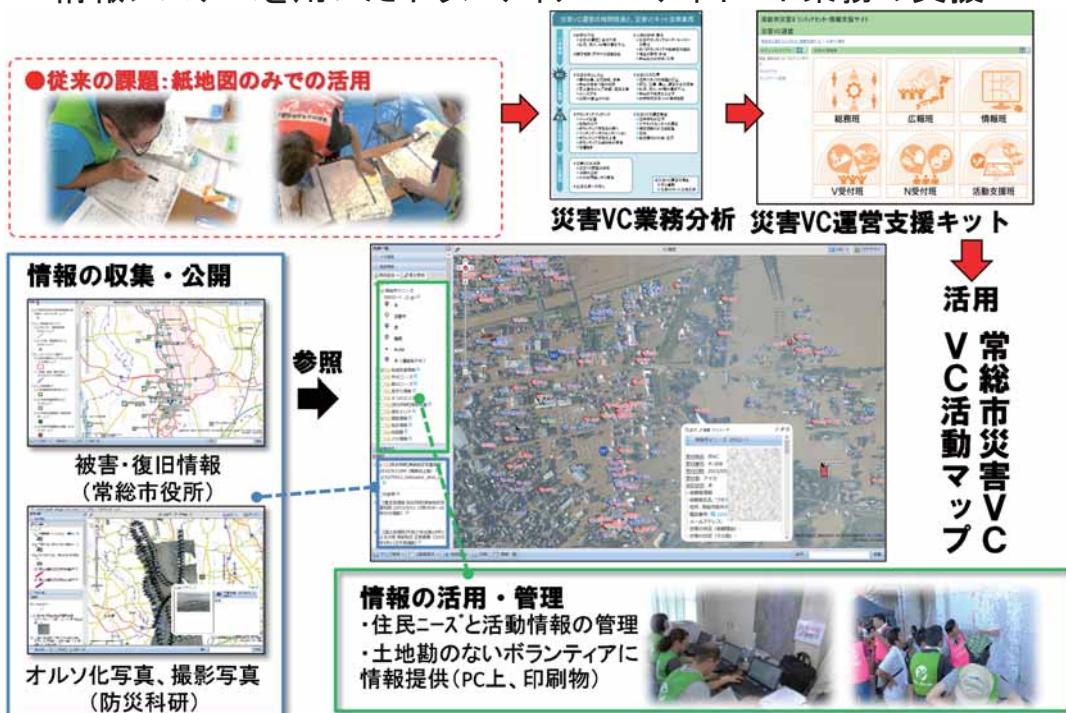
4. 常総市支援の背景

- 自治体と災害VC間での情報共有の有効性（白馬村での事例）
 - » 2014年11月22日に発生した長野県神城断層地震を受けて、白馬村役場と災害ボランティアセンター（災害VC）にて情報支援を実施。
 - » 村役場と災害ボランティアセンター間での情報共有が的確な災害対応へとつながる可能性を示唆。
- 常総市での対応支援
 - » 常総市役所での地図作成支援と、災害ボランティアセンターにおける対応支援を行い、情報共有を通じた的確な災害対応の可能性を検証。



5. 支援内容（災害ボランティアセンター）

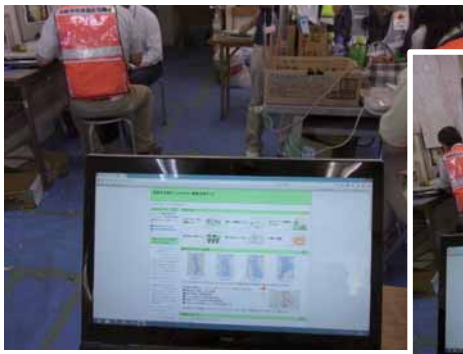
- 災害ボランティアセンター（災害VC）
 - » 避難所における情報ニーズ・提供支援
 - » 情報システムを用いたボランティアコーディネート業務の支援



6. 住民ニーズの管理（情報・マップ班）



住民ニーズ受付情報の管理



災害ボランティアセンター運営支援キット



ニーズ受付票



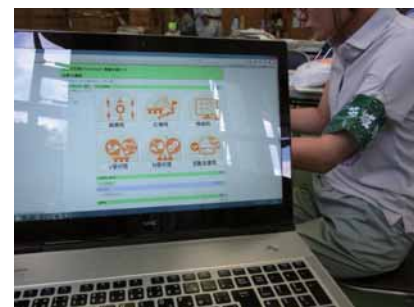
7. 茨城県（行政）災害ボランティアセンターでも実施



同様に茨城県（行政）災害VCでも利活用しています

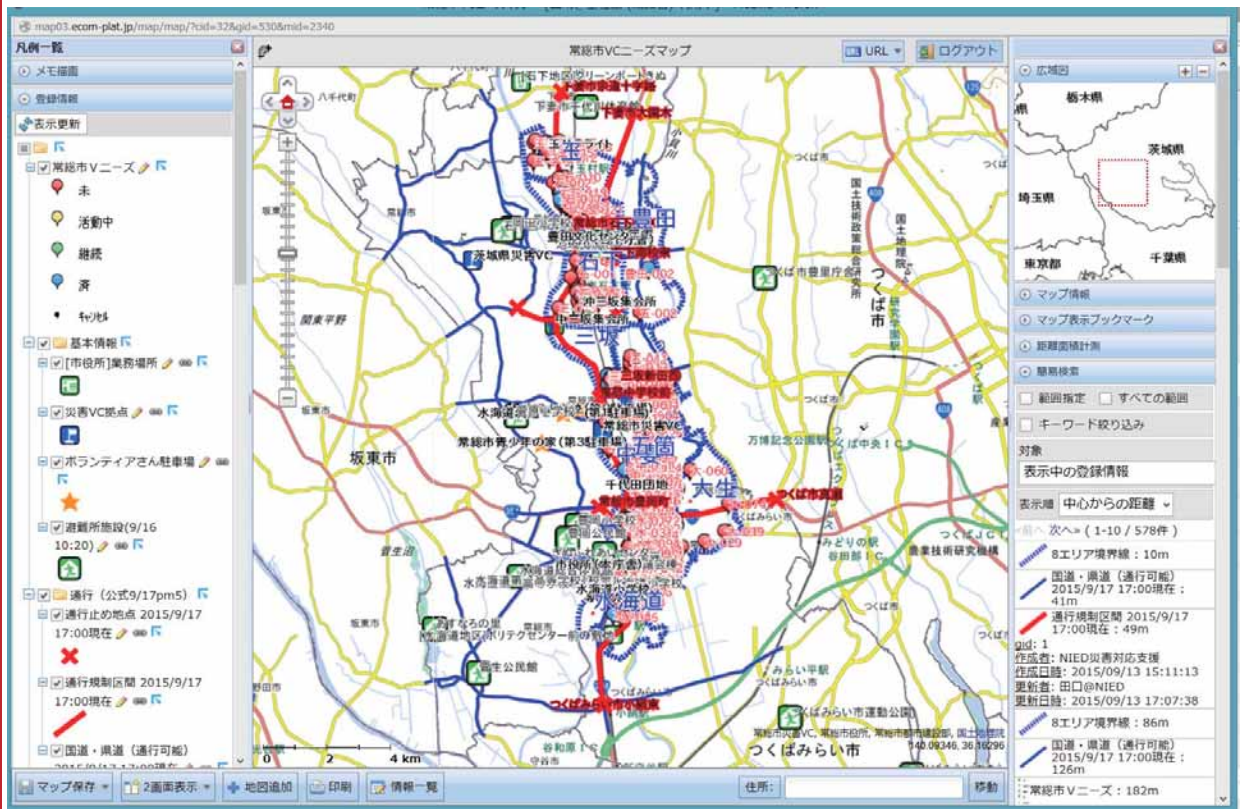


市と県の災害へのデータを統合し、
市役所情報も共有して閲覧可能！



災害ボランティアセンター運営支援キット

8. 常総市(社協)災害VCニーズマップ(9/22)



9. 災害関連情報の共有 (運営の評価・判断に利用)

住民ニーズと災害情報の現状を壁に掲示・共有



プロジェクター表示



大判マップを使ってミーティング



10. 常総市への支援を通じて得られた知見

市役所の的確な災害対応に向けた課題項目

- 平時からの適切な被害想定
- 各課の役割分担および対応基準
- 隣接自治体、県、国との連携
- 各課、災害VC、外部機関等との情報共有
- 上記を支援する情報システム
- 上記対応の練度向上のための訓練



解決方法案

- 災害対応マニュアル等の各種計画の作成とハザードに応じたハード整備
- 外部機関との連絡体制の確立
- 共有する情報の定型化、統一フォーマットの適用
- 地図情報を備えたタスク実施を支援するシステムの活用と平時からの利用
- 各種災害を想定した防災訓練の実施

災害VCの的確な災害対応に向けた課題項目

- 平時からの適切な被害想定
- 受援のための各種ボランティア団体、行政機関等との円滑な連携と情報共有
- ボランティアの受付から派遣、ニーズとのマッチング、進捗管理等の効率化
- 上記を支援する情報システム
- 上記対応のための訓練の実施



解決方法案

- ボランティアコーディネートに関する業務のシステム化による情報管理の確実性向上と効率化
- 支援団体等との連携関係構築
- 地図情報を備えた情報システム、外部発信可能な情報システムの活用と平時からの利用
- 各種災害を想定した防災訓練の実施

市役所や災害VCが連携および情報共有を行いながら、的確な災害対応を実現するためには、上記課題項目を解決し、災害対策や情報システムへ反映可能な**標準手法・技術**を開発・確立することが重要。

Memo